

農村連携促進支援事業費補助金

静岡県は、農山村地域と企業等が連携して、農村資源を活用した地域活性化を図る新たな取組を支援します。農山村地域と多様な仲間が連携を深め、地域が活気づく企画を応援します。

補助対象者

ふじのくに美しく品格のある邑に登録された地区（以下「登録邑」という。）と企業等で構成される組織（以下「構成組織」という。）とします。

補助対象事業

構成組織が行う農山村の活性化を図る新たな取組であって、以下の要件の全てを満たすものとします。

- ア 構成組織が新たに取り組むもの又は既存の取組をより発展させるもの
- イ 取組の目標を掲げ、その達成に向けた計画を策定した上で行うもの
- ウ 複数の集落に対し多様な主体の参画を得て取り組むもの
- エ 継続して実施する可能性のあるもの

補助対象経費

構成組織が実施する本事業に要する経費のうち、報償費、旅費、通信運搬費、需用費、使用料及び賃貸料、資材等費、雑役務費、広報費、産業財産権等の導入経費、通訳料・翻訳料、委託費

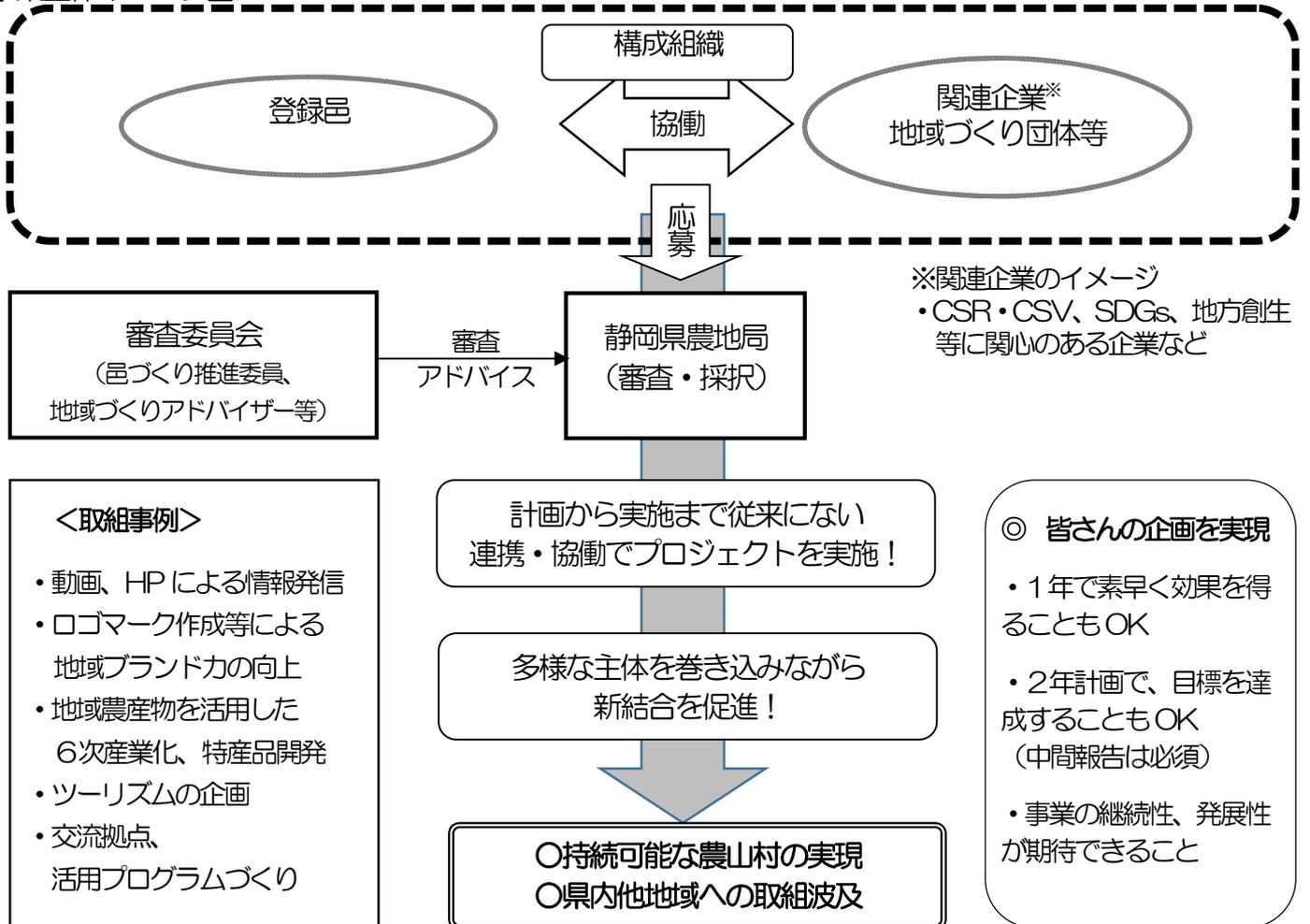
補助率

補助対象経費の
10分の10以内

補助額

補助額は1構成組織当たり1,500千円を限度とする。なお、年度の補助申請額の上限は1,000千円とする。
 (例 R6: 70万円 R7: 80万円)
 (例 R6: 100万円 R7: 50万円) , (例 R6: 90万円 R7: 0万円)

<事業全体イメージ図>



「農村連携促進支援事業」を実施中！

農山村地域と企業等が連携して、農村資源を活用した地域活性化を図る新たな取組を支援する「農村連携促進支援事業」を実施中です。農山村地域と多様な仲間が連携を深め、地域が活気づく企画を応援しています。令和7年度は、以下の3つのプロジェクトを実施しました。

2年目

①農村防災RMOプロジェクト

〈敷地村×豊岡東地区環境保全協議会×

(株)キャタラー×(株)カワイほか〉

取組

- ・既に敷地村にて取り組まれている農用地保全や地域資源活用に「防災・減災」をテーマとした住民参加型の探究活動を加え、「農村RMO」の設立を目指す。
- ・令和7年9月、11月にフィールドワーク開催。12月にはアウトドア体験を通じて防災減災を学ぶイベント実施



フィールドワークチラシ

1年目

③くま農山村キャンパス設立プロジェクト

〈夢未来くま×道の駅「くま水車の里」×

マックスバリュ東海(株)〉

New!

取組

- ・地域活動の担い手となる地域住民をキャンパス活動への参画を通して増やす。
- ・企業・団体研修の機会として、キャンパス活動を商品化して販売する。
- ・地域の魅力を伝えるプロモーション活動の質の向上。



チラシ



HP

1年目

④小田野沢ビオトープ再生事業

〈本郷×(株)エクノスワタナベ×

瀬戸谷温泉ゆらくほか〉

New!

取組

- ・ビオトープの再生を契機として、地域資源の見直し(活用・保全)を行う。
- ・地域の保全活動に関心のある地域住民、ビオトープに関心のある企業団体と新たなネットワークを構築する。
- ・ビオトープの取組やその周辺の自然環境を市内外にPRし交流人口の増大を図る。



メダカの放流会